西東京市市民協働推進センター

平成29年度第8回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：平成29年12月19日(火)午後7時00分～8時00分
■開催場所：イングビル3階第1、2会議室
■出席委員：池田委員、石井委員、海老澤委員、古林委員、櫻井委員、佐藤(文)委員、鈴木委員、田中委員、谷委員＜以上9名、五十音順＞
■事務局　：内田センター長、鈴木副センター長、池田事務局長、小平福祉活動推進課長、妻屋福祉活動推進課長補佐兼係長、山田主任

1.報　告　事　項

1.業務報告について

事務局より、11月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談の状況について説明があった。

委　員：NPO等企画提案事業に行政提案型が加わり、その来年度のテーマは市との選定懇談会で決めたということだが募集要項の内容に変更はあるのか。

事務局：募集要項は作成中で、1月か2月にはできるということだ。

委員長：行政提案型事業において行政は最終的に事業化も視野に入れて、考えているようだ。

2. 12月以降の事業について

事務局より、12月以降の実施事業について説明があった。

委員長：NPO市民フェスティバルについてだが、特段の報告はあるか。

事務局：実行委員会でほぼ決定済みだが、ボランティアなどお手伝いが未定である。

委　員：学生ボランティアだが20日は3人、21日4人決定している。引続き声掛けはしていく。

事務局：21日の地域活動・スタート説明会は20名を募集している。

委員長：前日の19日は準備があるのか。

事務局：参加団体は展示の準備がある。13日には10時から直前説明会を行う。

2. 審　議　事　項

1. 前回の会議録について

委員長：意見がなければ確定稿とする。

3. 協　議　事　項

1. センターの業務の執行に関する事項（重点事業の企画）について

事務局より平成30年度西東京市市民協働推進センター運営委員会委員名簿（案）について説明があり、次期運営委員候補について協議した。

2.今後の運営委員会の進め方について

事務局より平成30年度事業計画における（仮称）自主企画委員会について（案）について説明があった。

委員長：設置目的・名称・内容・具体的な募集方法、運営方法の5項目の議論のポイントがあるが前回、前々回の議論を含めて自主企画委員会に対して持っているイメージなりを出して欲しい。

委　員：団体を募集するのか、個人が集まって委員会になるのか。

事務局：後者だ。一人一人が集まり話し合いの場を持つことになる。

委員長：登録団体の中からピックアップするのか。

事務局：対象にもよるが中心になるのは団体だ。NPO市民フェスティバルも実行委員会だが、同じような形で運営してもよい。

委　員：集まり方によっては偏った内容になるのではないか。どうやって人選するのかが重要になってくる。

事務局：目的にあった募集をかける。

委　員：高校生等を入れて意見する場となれば今までにない新しい物かできる可能性も出てくるのではないか。登録団体にこだわらなくてもよいのではないか。

委員長：人選によって変わるという話が出たが、どんな分野の団体にとっても共通して「良い・重要」なテーマを選別すると、今のゆめこらぼと変わらなくなるのではないか。

事務局：前回、前々回に出た意見を解釈すると、あまねく広くではなく分野ごとに前半は子ども関係、後半は環境関係など、テーマを絞ってやるのはどうかという意見がでたと思う。

委　員：年に何回できるのか。

事務局：講座・セミナーで限定すると年に2～3回である。まちづくり円卓会議などはテーマを決めて中身を自由に決められるとう点では乗せやすいと思う。

委員長：まちづくり円卓会議に参加している方たちが自主企画に入ることはありえるのか。

事務局：あり得るが、年度内では難しいと考える。

委　員：設置目的に関してだが、委員会を設置するかは目的が若干違いがあるのではないか。登録団体にメリットを与えるのは違う話かと思う。人材とか団体育成を考えた場合インプットで得るものではなく、自分達の活動を語り合うなどアウトプットの練習の場は自主企画として団体育成になるのではないか。

委　員：自主企画委員会のメンバーがニーズを抽出する団体なのか、企画を考える団体なのか。既存の団体のニーズを拾う自主企画なのか。

事務局：自分達のニーズであり他者のニーズを拾うことは考えていない。提供側の論理で講座・セミナーが構築されているので、受ける側の立場でのセミナーを自分達の希望を企画の中に取り入れた講座・セミナーを企画するための委員会を立ち上げてはどうかがスタートである。

委　員：三鷹の協働推進センターなどは市民委員みたいな方が企画からやっているように思う。食を通じて地域がつながる講座とハンズオンの話に参加したが、市民が企画したと感じられ良いと思った。運営方法はわからないが、推進センター以外の人が運営していたようだ。

事務局：小平では登録団体の中でイベント部会などを作り運営している。

委　員：登録団体の人はすでにやりたい事を形にしている人たちなので、公募するにしてもそこが難しいのではないか。

事務局：自分達の団体だけでは「学びの場」の企画運営は難しくても、団体間やゆめこらぼスタッフと連携することで形になりうる。

委　員：もっと市民に農業に親しんでもらうための話し合いに参加したことがあるが、いろいろな人が参加することでかえって話し合いが難航し中断となった。

委員長：三鷹や小平のように自主企画的にやっている所のモデルケースがあるとよいのではないか。共通イメージが持てるよう情報収集し、継続的に審議する。

4. そ　の　他

1. 次回運営委員会日程について

日時：1 月 16 日（火）19 時～21 時

会場：イングビル 3 階　第 1,2 会議室